

症例 1

前歯 4 本の症例

以前にかなり広範囲が修復されており、修復した部分が全体的に黄色く着色してきています。

(これは「コンポジットレジン」という材料を使う上では、避けて通れないものになります。)

患者さんの希望もあり、1日で4本の前歯をダイレクトボンディングにて治療しました。
(一度、以前に詰めてあったコンポジットレジンをはずして、虫歯になっていた部分もしっかり除去してから、

左の前歯の欠けた部分の形態回復も含め、本来の歯に近い色調になるように修復しました。)



症例 2

奥歯 2 本の症例

「下の奥歯の銀歯を白くしたい」とのことで、ダイレクトボンディングを行いました。セラミックインレーという方法もありますが、「なるべく歯を削らない方法で」ということもあり、小さい銀歯でしたので、銀歯を外して、その日のうちにダイレクトボンディングで治療を行いました。

下の奥歯でしたので、治療前はどうしても大きくお口を開けたときに金属が見えてしまっていたのですが、ダイレクトボンディングをすることで、自然な色合いになりました。



症例 3

前歯の隙間症例

当初は、中央の前歯2本だけという希望でしたが、全体バランスを考えて、治療希望のあった歯の隣の歯も含めた4本の治療計画を提案させていただき、中央の2本はダイレクトボンディング、隣の2本はダイレクトベニアという治療法で形態を回復しました。

